

千本桜から

小野町立夏井第一小学校
0247-72-2339
平成26年 5月 9日
学校便り 通巻第22号
文責 校長 鈴木 陽子



教育目標 【自ら学び、思いやりの心で、たくましく生きる子どもの育成】

『なかよく』 (徳)
『つよく』 (体)
『いっしょうけんめい』 (知)



春爛漫！ 千本桜サポータークラブ活躍！

～ 3～6年生 総合的な学習の時間 ～

昨年の大雪の厳しさが、桜の生命力を奮い立たせ輝かせたかのように、今年はより一層、美しく開花した千本桜のもと、4月24日と28日に、「千本桜サポータークラブ」の活動を3～6年生が行いました。

活動に先立ち、元夏井区長さんの宗像敬さんと実行委員長の吉田恭正さんに、小野町の千本桜についてお話を伺い理解を深めました。実行委員会の皆様には大変お世話になりました。有り難うございました。

暖かな春の日差しの中、子どもたちはガイド班、アンケート班、しおり配り等の各グループに分かれ活動しました。

観光客の皆さんは、進んでアンケートに答えてくださったり、ガイドの説明に聞き入ってくださったりしました。また、手作りのしおりを配ったり、グループで進んでごみ



拾いをする子どもたちに「ありがとう、ご苦労様。」「毎年楽しみにしています。」などと声をかけてくださいました。このような出会いを通してコミュニケーション力を身に付け、地域の宝である千本桜を守っていく心を育てていきます。



青空のもと全校生で お花見会食！



春爛漫の4月17日、全校生でお花見会食を楽しみました。

夏井川遊歩道沿いの河川敷で、さくらっこグループごとに車座になりご家庭で作っていただいたお弁当を美味しくいただきました。

風もなく暖かな日で、すっきり晴れた青空のもと、遊歩道を色取る満開の水仙を愛でながら、美味しいお弁当をいただき、縦割り班で楽しいおしゃべりにも花が咲きました。全校生で春の素敵な時間を楽しむことができました。

読書に親しむ習慣を身につけよう

～ 「週末読書」 のすすめ ～

福島県教育委員会が去る3月26日に発表した「読書に関する調査」によると、「1カ月に1冊も本を読まない」高校生は49%で、約半数を占めるとのことでした。次いで中学生16.3%、小学生1.5%でした。高校生が「読まない」とする理由は「マンガなどが楽しい」が20.3%で最も多く、次いで「部活動で時間がない」が18.5%でした。（「福島民報」2014.3.27 より）

読書は、子どもの心の栄養となり、想像力を豊かに育て、また、読書の習慣を身につけている子どもは、学力も伸びるといわれています。生涯学習をも見据えた学習習慣形成に重要な小学生の時期に、子どもたちには、ぜひ読書の習慣を身につけてほしいと思います。

学校では、毎朝図書館を開き図書の出しを行ったり、子どもたちが楽しく興味関心をもって読書に取り組める学校図書館の環境整備や図書の充実などに取り組んでいるところですが、本校の子どもたちの読書量は、必ずしも多いとはいえません。特に、全県的な傾向と同じで、高学年の児童の読書への取り組みはさらに奨励したいところです。

そこで、今年度は、ご家庭の協力も得ながら「週末読書」に取り組んでいきたいと考えます。週末に、お子さんは自主学習の一貫として、またご家族揃って読書を楽しむ時間を作っただけだったらと思います。低学年のお子さんにはご家族が本を読んで聞かせるのもよいと思います。ちなみに先の調査によると小学生1カ月間の県平均読書冊数は10.9冊でした。お子さんのよりよい読書習慣形成のため、ご協力をよろしくお願いいたします。



児童会総会 開かれる

児童会総会が4月23日に行われました。始めに、「校歌」をみんなで元気よく歌い、その後「夏井第一小学校を今よりもっとよい学校にするために、みんなのために、私にできること」を基本的な考えとして、活発な話し合いがなされました。

毎朝や休み時間ごとに、各委員会の活動に進んで張り切って取り組む子どもたちの姿が見られます。

「気づき、考え、実行する児童会」となるよう、活動を充実させていこうと確認し合いました。



ご家族お揃いで
おいでください!

連合大運動会

- 1 日 時 平成26年5月17日(土)
午前8時30分 開会
- 2 場 所 夏井第一小学校 校庭
- 3 その他 雨天順延
詳細については後ほどプログラムにてお知らせいたします。

